

平成17年度 女性のチャレンジ賞表彰受賞者

受賞者名	所属	推薦者	年齢	活動内容
いしはら なつこ 石原 奈津子 (個人)	有限会社 茄子の花 代表取締役社長	島根県	32	<p>通訳、編集者等を経て、起業塾で学び、高齢者の経験と知恵を子どもたちに伝える事業を展開しようとH11に(有)「茄子の花」を設立した。</p> <p>事業の中で、食を通じたコミュニケーションを「心を育てる場」と位置づけ、市販のベビーフード等食の安全に対する不安からH16には(株)「おいしいハート」を設立し、無添加・無農薬の離乳食ブランド「あかちゃんどうぞ」を開発・販売している。原料は全て国内産で、生産履歴が把握できるようにしており、現在では、東京の高級スーパーに進出するなど注目を浴びている。</p> <p>また子連れでも気軽に利用できるレストランを経営し、地域の親子に対する食育の拠点としている。</p> <p>その他、管理栄養士や小児科医等の専門家や生産者を構成員とした「子どもと食の楽会」を組織化し、食育をテーマとした企画の提案や、情報提供等の子育てサポートを行っている。</p>
ひがしの まゆみ 東野 真由美 (個人)	パウダーテクノ コーポレーション 有限会社 代表取締役社長	山形県	42	<p>山形大学教授秘書を務めていた際、工学部に依頼された米を原料とする食品開発プロジェクトに主婦感覚を買われて協力した。</p> <p>同プロジェクトにより米粉100%のパン「ラブライス」が開発された後、山形大学大学院ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーを母体として、H14に「パウダーテクノコーポレーション」有限会社を設立した。</p> <p>プロジェクトで開発された技術を活用して、「米粉」や同粉の製造技術ライセンスの販売等を行うとともに新製品の開発支援等の事業を展開している。</p> <p>一般の主婦からベンチャー企業を設立し、ベンチャービジネス分野での表彰受賞や開発したパンの地元パン屋における製品化等、成果を上げている。</p>

平成17年度 女性のチャレンジ賞表彰受賞者

受賞者名	所属	推薦者	年齢	活動内容
ふじた としこ 藤田 敏子 (個人)	株式会社 クック・チャム 代表取締役社長	経済産業省 愛媛県	55	<p>家業の精肉業を手伝いながら、「働く女性のために安心・手軽な家庭の味を食卓へ」と惣菜販売を始め、H6に(株)「クック・チャム」を設立した。</p> <p>出来るだけ添加物を使用せず、出来立てのおいしさを提供するため、「キッドシステム(材料を個包装せず、メニュー毎に食材とタレをセットにし、各店舗へ発送。ケースを回収・再利用する等環境面にも配慮。)」を採用している。2005年現在、四国を中心に東京から熊本まで、直営店23店舗、フランチャイズ店21店舗を展開している。</p> <p>従業員の95%が女性であり、自らが社長として、役員、管理職にも女性を積極的に多数登用している。さらに、パートから社員となり、店長として将来社内独立をしていく仕組みの構築や、社員のキャリアステップづくりを目的にした「きらりカレッジ」の開校など、社員の能力向上や独立・起業支援に力を入れ、現在10人の女性社長を誕生させている。目標は100人の女性社長をつくる事。</p>
ほしかわ みつこ 星川 光子 (個人)	特定非営利活動 法人 いぶりたすけ愛 理事長	北海道	54	<p>登別市女性国内派遣研修への参加をきっかけに、高齢者介護分野に着目し、主婦5名で勉強会を始め、H7に「登別ライフケアを考える会」を設立した。</p> <p>H9には「いぶりたすけ愛」へと組織名を変更し、H11には北海道初の介護分野でのNPO法人認証を受け、介護保険適用サービスを提供する法人へと発展した。現在、会員は870余名にまで増えており、かつ会員の3分の1は男性であり、従来女性が担ってきた介護や育児を地域社会における市民活動へと転換することに成功していると言える。</p> <p>そのサービス内容は、介護等の在宅サービス等を提供した会員は1時間当たり5点のサービス券をもらい、将来、換金若しくは自分や家族がサービスを受けることが出来るというもので、市民相互扶助に「有償性」や「時間預託」を取り入れた新たな福祉形態を展開している。</p> <p>今後はバリアフリーの「小規模多機能サービス拠点」の開館等を目指すなど新たな取組みを実施している。</p>

平成17年度 女性のチャレンジ支援賞表彰受賞者

受賞団体名	代表者氏名	推薦者	活動内容
株式会社 アクティブブレインズ	ひらやま たかえ 平山 高恵	千葉県	<p>代表者である平山氏が育休中に専業主婦向けパソコン教室を開設したのをきっかけに、設立。</p> <p>ITを活用して働きたいと考えている女性をサポートするため、地域密着型のパソコン教室「PCママサロン」を展開し、在宅ワークの可能性を広げている。現在では全国約40か所でパソコン教室を独立採算で運営する一方、首都圏の学校で教師に対する情報化教育を行っている。</p> <p>また、ITスキルを活かして自宅や近隣のコミュニティで仕事をしたいと考えている女性と、そのスキルを必要としている地域社会や企業、学校、自治体を結ぶビジネスコーディネートサービスを提供するサポート事業(在宅ワーカーを自治体等のパソコン研修へ講師として派遣する等)を実施している。さらに、会社で受注した業務を割り振るエージェント事業等を展開し、技術を習得した女性が在宅で活躍できる場を確実に拡大している。</p>
Venus One (ヴィーナズ ワン)	こじま すみこ 小嶋 寿見子	みすみよしこ 三隅佳子 男女共同参画推進 連携会議企画委員 北九州市	<p>男女共同参画センターにおける起業家支援に協力してきた女性たちが、「起業へのトレーニング」、「起業のサポート」そして「起業後のフォロー」とトータル・サポートをする女性起業支援組織として設立したものの。</p> <p>コミュニケーター養成研修や女性起業家育成塾の他、起業を目指す女性に対して、小倉の商店街の一角にある保有ビル内の店舗スペースを、「チャレンジショップ」として低家賃、1年契約で貸し出し、実験的な起業経験によるスムーズな起業を支援している。</p> <p>なお、代表者の小嶋氏は、現在はエステサロン、日本料理店、不動産会社の3社を経営する他、自らの起業経験からNHK文化センターにて起業家セミナーを開講し、H11からは市の男女共同参画センターの女性起業家支援塾でコーディネーターを務めている。</p>

平成17年度 女性のチャレンジ賞特別部門賞(地域づくり)表彰受賞者

受賞者名	代表者氏名	推薦者	活動内容
あやおり夢を咲かせる女性の会 (団体)	きくち 菊池 ナヨ	国土交通省	<p>農村部において、田んぼにトイレを設置するという身近で素朴な要望を日本初の農業者用簡易水洗トイレとして実現させた。</p> <p>また、地産地消の考えに基づき郷土料理を提供する「夢咲き茶屋」を開業し、食材の一部を地元中学校に栽培してもらうなど、生徒の地域への関心を高めている。また、「夢咲き茶屋」の経営も順調で、年々売上も増加している。</p> <p>その他、集落排水に関する学習会や生ゴミの堆肥化など環境保全運動にも取り組んでいる。</p> <p>また、「北東北ナベナベサミット」の開催を提唱し、その後独自に「岩手ナベナベサミット」も開催するなど、食を通じた広域交流の促進に取組み、各地域の食の文化を見直すきっかけを作っている。</p>
萩の会 (団体)	さいとう 斎藤 ソノ	島根県	<p>島根県の西南端の峡谷にある戸数20戸、人口56人、高齢化率46%超の集落で、「自分たちがこの地で健康で明るく生活していこう」と、70歳以上の元気なおばあちゃん7人が民宿を開業した。これをきっかけに「水稻部会」「ブルーベリー部会」も設立し、「民宿部会」と併せ、3部会を束ねる「萩の会」が発足した。現在、民宿は「わがままおばあちゃんの宿」として全国に聞こえる名物宿となり、さらに古代米やブルーベリー栽培などの新機軸も次々に打ち出すなど、村づくりの原動力となっており、一戸の廃屋も出していないのが自慢となっている。</p> <p>その他、遊休農地の解消による農村環境の改善、地域リーダーの育成や高齢者・農村女性の社会参画の促進、観光資源のPR、地元の農産物の首都圏デパートでの販売など地域活性化に取り組んでいる。</p> <p>また、当該団体の所在地域は、県の中山間地域リーディング事業地域に指定されており、更なる活動の展開が期待できる。</p>